

会 議 録

| | | | | | | |
|--------------------|-----|---|----|------|------|-----|
| 会議名 | | 平成 22 年度第 2 回相模原市障害者自立支援協議会 | | | | |
| 事務局 (担当課) | | 相模原市社会福祉事業団 障害者支援センター松が丘園 電話 042 - 758 - 2121 | | | | |
| 開催日時 | | 平成 23 年 3 月 23 日 (水) 午前 10 時 ~ 午後 12 時 15 分 | | | | |
| 開催場所 | | 障害者支援センター松が丘園 3 階研修室 | | | | |
| 出席者 | 委員 | 出席 12 人 欠席 7 人 | | | | |
| | その他 | 3 人 報告者 | | | | |
| | 事務局 | 5 人 社会福祉事業団：事務局長、支援課長、他 3 人 | | | | |
| 公開の可否 | | 可 | 不可 | 一部不可 | 傍聴者数 | 0 人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | / | | | | |
| 会議次第 | | 1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 協議会の活動報告 ア 連絡調整会議の報告 イ 研修の報告 (2) 部会活動報告及び提案等承認について ア 相談支援部会 イ 就労支援部会 ウ 権利擁護部会 (3) 自立支援協議会と相談支援事業に関するアンケート調査報告 (4) 組織及び要領の改正について (5) 来年度事業計画(案)について 4 閉会 | | | | |

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 会長挨拶 伊東会長

3 議事（ は会長、 は委員、 は部会長、 は障害福祉課の発言）

（１）協議会の活動報告

ア 連絡調整会議の報告

イ 研修の報告

事務局から、平成２２年度下半期のア及びイの開催状況、また、他市自立支援協議会の視察報告を行った。

（２）部会活動報告及び提案等承認について

全ての部会の報告等終了後にまとめて質疑応答の時間を設けることとする。

ア 相談支援部会

相談支援部会部会長から、平成２２年度下半期活動報告および提案事項について説明した。

イ 就労支援部会

就労支援部会部会長から、平成２２年度下半期活動報告を行った。

ウ 権利擁護部会

権利擁護部会長から、平成２２年度下半期活動報告及び成年後見制度の利用推進についての提案等説明した。

各部会の報告等について、ご質問およびご意見はあるか。

権利擁護部会の報告にあった「親ごろの記録」は、相談支援部会の報告の中にあつた「サポートブック」と同じような内容か。

基本的には同じ。こういったものは、あらゆる場面で利用価値があるものだと思う。諸外国では取り組んでいる。

全日本育成会では、作成に着手している。県育成会でも検討中。母子手帳のように、ライフステージの記録を全て記入するもの。育成会の各県市部では取り組み始めている。相模原でも取り組みたいと考えている。

今、他市の育成会で作成されたものを回覧している。膨大な情報量を集約するもの。詳細な個人情報なので、どこで管理するか、十分な検討が必要。

権利擁護部会へ質問。大きな災害が発生して、制度改革の流れがどうなるか心配している。権利条約の批准に向けての動きもある。成年後見は権利を守る面と権利を制限する面もあると思う。例えば、障害者自立支援法施行後もグループホーム等で権利侵害が起きてもあり、地域移行の流れもある中で、本人たちを守れるか等、制度に関する課題について、これまで議論されたかお聞かせいただきたい。

個を守りたいと考えている。確かに、お金儲けを考えての事業参入があるのも事実。注視していきたい。

地域で暮らすと言うと、ケアホーム、グループホームという社会資源の利用があげられるが、自力で日中活動場所へ通うことが出来ない場合は、送迎手段がないと、結局、ホームへの入居を諦めることになる。仕方なく、20年～30年と親が送迎している人もいる。送迎問題に関しては、早期の検討が必要だと思う。

外出支援ではガイドヘルプサービスは有効な資源。民間で開催するガイヘル講座は、一般的に3日間で4～5万円かかると聞く。東京都では、大学等と連携して、1～2万円で受講できるシステムがある模様。ガイドヘルパー養成は、公的支援があればかなり改善されるのではないか。また、「親ごろの記録」は、親の視点で書かれている。しかし、広汎性発達障害の方では、ご自身が意思表示出来る方もいる。サポートブックという呼び方もするが、「今後の夢」「私はこうしたい」など、本人視点も加えていただきたい。

ここまでのまとめをする。相談支援部会は提言、権利擁護部会は報告という形で出されている。本日の限られた時間での議論では、市にどう提言するかも深められない。特に相談支援部会の提言は、次年度以降の活動テーマとして、捉えていきたいと思うが、よろしいか。

承認

また、就労支援部会および権利擁護部会の報告に関しても承認ということによろしいか。

承認

(3) 自立支援協議会と相談支援事業に関するアンケート調査報告

事務局から、全国の10万人以上に市に向けて実施した「自立支援協議会と相談支援事業に関するアンケート調査」集計結果について報告した。

(4) 組織及び要領の改正について

市障害福祉課から、来年度の自立支援協議会組織改編及び要領改正について説明した。

委員も再編成されるとのことであれば、知的障害者等当事者の積極的な参画をご検

討いたきたい。

政令指定市移行後、委員の半数以上が市の職員となったが、この点はどうなるのか。民間の方にも多くご参画いただけるような構成を考えている。

(5) 来年度事業計画(案)について

事務局から、来年度の実業計画について説明した。

特にご意見、ご質問がなければ、来年度事業計画について、承認ということによるしいか。

承認

ここでまとめさせていただく。来年度からの自立支援協議会は、ある意味、オーソドックスな形になる。この任に就いてから、各市町村の自立支援協議会の動向を聞いていたが、どの市町村も迷いながら運営している印象がある。来年度以降、更に充実したものになるよう、相談支援部会、就労支援部会、権利擁護部会のこれまでの検討結果も踏まえて、展開していけると良いと思う。

4 閉会 伊東会長

以 上

相模原市障害者自立支援協議会委員名簿

H23.3.23

| | 氏名 | 所属等 | 出欠 | 備考 |
|----|-------------------|---|----|-----|
| 1 | しまむら 島村 かずあき 一秋 | (福)相模福祉村たんぼぼの家施設長補佐 | 出席 | |
| 2 | いちかわ 市川 ひろゆき 弘幸 | (福)かながわ共同会津久井やまゆり園第一支援部長 | 出席 | |
| 3 | なかじま 中島 ひろゆき 博幸 | 相模原市障害福祉事業所協会長 | 出席 | |
| 4 | ちんじゅ 鎮守 けんいち 健一 | 相模原市障害児者福祉団体連絡協議会長 | 出席 | 副会長 |
| 5 | こすげ 小菅 あきら 明 | (福)相模原市社会福祉協議会福祉推進課長 | 出席 | |
| 6 | くわばら 桑原 けんたろう 健太郎 | 相模原公共職業安定所次長 | 出席 | |
| 7 | よしざわ 吉澤 ひろつく 宏次 | 神奈川県立中井やまゆり園 神奈川県発達障害者支援センター地域支援課長補佐 | 出席 | |
| 8 | さかもと 坂本 つかさ 司 | 神奈川県立相模原養護学校長 | 欠席 | |
| 9 | すぎもと 杉本 ゆみこ 由美子 | 神奈川県立座間養護学校長 | 出席 | |
| 10 | さとう 佐藤 たかひろ 隆広 | 神奈川県立津久井養護学校長 | 出席 | |
| 11 | えもり 江森 しずこ 静子 | 相模原市健康福祉局こども育成部参事兼児童相談所長 | 出席 | |
| 12 | たかはし 高橋 まこと 眞 | 相模原市健康福祉局こども育成部陽光園療育相談室長 | 出席 | |
| 13 | すずき 鈴木 しまこ 志麻子 | 相模原市健康福祉局福祉部精神保健福祉センター所長 | 欠席 | |
| 14 | すみこうち 隅河内 つかさ 司 | 相模原市健康福祉局福祉部障害福祉課長 | 出席 | |
| 15 | うちだ 内田 こういち 耕一 | 相模原市健康福祉局福祉部参事兼精神保健福祉課長 | 欠席 | |
| 16 | にいづ 新津 あきひろ 昭博 | 相模原市環境経済局経済部参事兼産業・雇用政策課長 | 出席 | |
| 17 | どい 土肥 まさたか 正高 | 相模原市教育局学校教育部学校教育課長 | 出席 | |
| 18 | いとう 伊東 ひでゆき 秀幸 | 田園調布学園大学人間福祉学部人間福祉学科教授 | 出席 | 会長 |

報告者

| | | | |
|----|-----------------|---------------------------|---------|
| 19 | わたなべ 渡辺 ともおき 智興 | 相模原市健康福祉局こども育成部陽光園療育相談室主任 | 相談支援部会長 |
| 20 | まつや 松屋 なおと 直人 | (福)すずらんの会ワークショップフレンド施設長 | 就労支援部会長 |
| 21 | こやま 小山 はじめ 創 | (福)さつきの会藤野さつき学園長 | 権利擁護部会長 |

